

**カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所(I²CNER)研究棟竣工式典 及び
I²CNER 年次シンポジウム等の開催について****概 要**

九州大学伊都キャンパスでは、国内外の多くのトップレベルの研究者が連携して異分野融合研究を展開できる研究施設として、鉄骨鉄筋コンクリート造地上 4 階地下 1 階建ての「カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I²CNER : アイスナー) 研究棟」が完成しました。これに伴い、1 月 29 日 (火) に以下のとおり竣工式典を開催いたします。

また、あわせて「I²CNER Annual Symposium 2013」を 1 月 29 日 (火) に、国際ワークショップを 1 月 28 日 (月) から 31 日 (木) にかけて、伊都キャンパスにおいて開催いたします。

■背 景

「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」は、高いレベルの研究者を中核とした世界トップレベルの研究拠点を形成するため、文部科学省が平成 19 年度に開始した事業です。第一線の研究者が是非そこで研究したいと世界から多数集まってくるような、優れた研究環境と極めて高い研究水準を誇る「目に見える研究拠点」の形成を目指しています。

平成 22 年度に WPI プログラムに採択されたカーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I²CNER) は、非化石燃料によるエネルギーシステムを構築するための基礎科学を創出し、持続可能で環境にやさしい社会の実現に向けて取り組んでいます。

水素エネルギーを基盤とする社会に向けて I²CNER がめざす研究の中には、水素を安全に生産・貯蔵するための利用技術があります。また、私たちの研究は、二酸化炭素の回収や貯留技術、あるいは二酸化炭素を有用製品へ転換する技術なども模索しています。

■内 容**【I²CNER 研究棟竣工式典】**

日 時：平成 25 年 1 月 29 日 (火) 9:00～11:15

会 場：九州大学伊都キャンパス カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所
(福岡市西区元岡 744)

定 員：200 人

言 語：日本語、英語 (同時通訳あり)

プログラム：挨拶

挨拶

九州大学 総長 有川 節夫
九州大学 I²CNER 所長 Petros Sofronis

祝

祝

WPI プログラム委員長 井村 裕夫
文部科学省大臣官房審議官 (研究振興局担当) 森本 浩一
福岡県知事 小川 洋

WPI プログラム・ディレクター 黒木 登志夫

米国エネルギー省 技術開発マネージャー Monterey Gardiner

イリノイ大学アーバナー・シャンペーン校副学長 (研究担当) Peter Schiffer

テープカット

施設見学

【I²CNER Annual Symposium 2013】

日 時：平成 25 年 1 月 29 日（火）12:30～18:00

会 場：九州大学伊都キャンパス カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所

定 員：200 人

言 語：英語

プログラム：概	要	九州大学 I ² CNER 所長 Petros Sofronis
	基 調 講 演	川崎重工株式会社 熱技術研究部長 原田 英一 アルゴンヌ国立研究所シニアサイエンティスト George Crabtree
	研 究 発 表	九州大学 I ² CNER 副所長 石原 達己 サンディア国立研究所 I ² CNER 水素構造材料部門長 Brian Somerday 九州大学 I ² CNER 燃料電池部門主任研究者 中嶋 直敏 イリノイ大学 I ² CNER サテライト 副所長 Kenneth Christensen
	概 評	WPIプログラム・オフィサー 笠木 伸英

【I²CNER 国際ワークショップ】

日 時：平成 25 年 1 月 28 日（月）～1 月 31 日（木）

会 場：九州大学伊都キャンパス カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所

言 語：英語

プログラム：別添チラシをご参照ください。

■今後の展開

国内外の研究者や学生が新しいアイデアや異分野交流を行う場として、1 階ラウンジでは毎日午後 3 時からティータイムを行っているほか、学内外の様々なイベントにも利用できる I²CNER ホールや会議室なども設けています。

I²CNER の研究活動に相応しいダブルスキンによる断熱性能の向上、屋上緑化、吹き抜け階段室を利用した自然換気を備えた施設であるとともに、建物外形はキーリングカーブを表現しています（建物南側は、次世代燃料電池産学連携研究センター）。

* 1958 年、チャールズ・デービット・キーリング博士がハワイのマウナロア観測所において、大気中の二酸化炭素濃度の観測を継続的に実施し、二酸化炭素濃度が長期的に増加していることを世界で初めて証明。

（参考：I²CNER 新研究棟の概要）

構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造	地上 4 階地下 1 階建
面 積	建築面積 1,377 m ²	延べ面積 5,568 m ²
全部屋数	実験室： 14 室	
	研究室： 27 室	
	大ホール： 1 室	
	会議室等： 9 室	



【お問い合わせ】

カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（I²CNER:アイスナー）

支援部門長 角田 英之

電話：092-802-6930

Mail：wpisiencho@jimu.kyushu-u.ac.jp

Web：http://i2cner.kyushu-u.ac.jp